

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 25 日

所属	サービス創造学部	職名	准教授	氏名	仲野 友樹
研究課題	中小企業における情報システムの高度活用について				
研究キーワード	経営情報論、情報システム	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>今年度はこれまでに研究をしてきた中小企業における情報システムの高度活用といったテーマだけではなく、新たにモビリティとキャッシュレスの決済に関わる MaaS といったテーマにも取り組んでいる。それらの研究をもとにして、千葉商大論叢に情報システムの活用関連で 1 本、MaaS 関連で 1 本の合計 2 本の論文を投稿した。</p> <p>来年度も引き続き、中小企業における情報システムの活用についての研究を継続しつつ、MaaS、キャッシュレス、電子マネーなどの新たなテーマへの取り組みを継続して実施する。これらの成果をもとにして学会発表、論文投稿をする予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>【論文】 『中小企業における情報システムの導入意識と活用の変化についての研究』 千葉商大論叢 第 59 卷 第 1 号 2021 年 7 月</p> <p>【論文】 『日本における MaaS の実証実験の取り組みに関する研究』 千葉商大論叢 第 59 卷 第 3 号 2022 年 3 月</p> <p>3. 主な経費</p> <p>今年度は MaaS やキャッシュレス、電子マネーといった新たなテーマに取り組んだため、関係する書籍代を中心として研究費を使用した。併せて Web カメラ、マイク、USB フラッシュメモリなどの PC 関連機器、ボイスレコーダ、印刷用紙などを購入した。</p> <p>その他、情報システムに関連する学会の会費などに研究費を使用した。</p> <p>また、Windows11 対応の PC が発売されていることから、購入するための費用として来年度に研究費を繰り越した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし</p>					
(本文は 2 ページ以内にとまとめること)					